※令和４年度以降入学生用

学校番号	3038

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「現代の国語」（数研出版）						
副教材等	『新版　意味から学ぶ頻出漢字 3000』（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・予習、復習、試験勉強などは計画的に臨み、提出物の期限を守りましょう。
・社会生活に必要な漢字や語彙の力を伸ばし、基礎的な国語の力を身につけましょう。
・授業だけではなく、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させましょう。
・授業では、課題に対して自ら考え、話し合いや文章記述などを通して自分自身の思いや考えを他者と共有したり、複数人で解答を考えたりする協働学習を行います。積極的な参加を心がけてください。

2　学習の到達目標

（１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力（特に、文章で表現する力）を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」,「書くこと」,「読むこと」の各領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ言語感覚を磨き，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	文章中の表現について、文章の論理の展開を深めて説明する。 ［教材］ 「書けない日々」	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。 b[　読　]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って、筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	文章内容に関連した具体例を探し、その内容を簡潔にまとめる。 ［教材］ 「水の東西」	a：個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[　読　]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 c：筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	文化によって分節の仕方が異なるものを挙げ、その背景にある文化の違いについて、自分の考えを説明する。 ［教材］ 「ものとことば」 「どこにも蝶などいない」	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[話/聞]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 c：筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 行動観察
	資料から読み取れる事を分析し、自分の考えを文章にまとめる。 ［教材］ 「資料を分析して考えをまとめる」	a：情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b[　書　]：目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。 c：課題資料を踏まえて積極的に身近な例を考え、学習課題に沿って具体的にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 行動観察
2	筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめ、意見交換をする。 ［教材］ 「『わらしべ長者』の経済学」	a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b[　読　]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 c：自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って自分の考えをさらに深めようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	筆者の主張を踏まえた適切な実例を考え発表する。 ［教材］ 「動物園というメディア」	a：個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[　話/聞　]：目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 c：筆者の考えを的確に理解したうえで、積極的に適切な実例を考え、学習課題に沿って発表しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 行動観察
	特定のテーマについての本を読み感想文を書いた上で、その内容を発表する。 ［教材］ 「時間と自由の関係について」	a：実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解している。 b[　読　]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 c：同じテーマの文章を積極的に読み解き、学習課題に沿って自分の考えを発表しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	読み手が必要とする情報に応じて企画書を書く。 ［教材］ 「文章の構成を工夫して提案する」	a：実社会において表現するために必要な語句の量を増すとともに、語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　書　]：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c：課題資料を参考にしながら積極的に自分の考えを深め、表現や構成に工夫を凝らして、学習課題に沿って適切に資料を作成しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
3	文章中の表現について、文章の論理の展開を捉えて説明する。 ［教材］ 「他者を理解するということ」	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している b[　読　]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	自分の考えが的確に伝わるように、適切に引用するなど、説明の仕方を考えて書く。 ［教材］ 「絵を前に思いをめぐらす」	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b:[　書　]：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができている。 c：異なる文章と積極的に読み比べることで、それぞれの筆者の意見を理解し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　20　）時間